平成22年度 西宮市行政方針 豊かに暮らせるまちづくり



ます。 的な方向性は堅持していきま する今後の取り組みに注視しつ り込まれており、本市の予算室 す。なお、国の22年度予算案で もこれに対応したものとしてい は、政権公約の「子ども手当」 つも、本市のまちづくりの基本 「高校の実質無償化」などが盛 金融危機に伴う世界経済の悪

課題を抱えています。 予断を許しません。また、少子 化により、過去に例を見ないほ であり、市民一人ひとりがふれ まちづくりを進めることが重要 ど、現代社会は深刻かつ多様な 高齢化の進展や地球温暖化な あい、感動できるまちの実現に にあっても、心豊かに暮らせる ど急激に落ち込んだわが国の景 気は、持ち直してきているもの しかし、このような社会環境 依然として情勢は厳しく、

向け、まい進していきます。

の願いです。

新年度の 主要な取り組み

いて説明します。 安全で安心できる暮らしは、 次に新年度の主要な取り組みにつ まち

きます。 害や混乱を思い起こすにつけ、あら 災害や危機に強いまちづくりを進め ゆる災害や疾病などから、市民の生 るまちの実現に向け、取り組んでい 応など福祉の増進を図る施策を展開 健康の保持と、高齢化の進展への対 たいと考えています。また、市民の 命と財産を守ることができるよう、 し、だれもが安全で安心して暮らせ しましたが、私は、当時の甚大な被 阪神・淡路大震災から15年が経過

です。 子どもたちの笑顔は、まちの活力

全体で子育てや教育を支えていくべ にちが健やかに育つためには、社会 私は、次世代の社会を担う子ども

みを一層、充実・発展

らづくりを進めていき 習を軸とした21世紀の

地域産業の振興は、

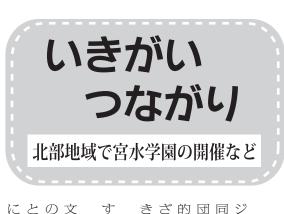
や、循環型社会の形成 きます。また、温室効 るため、都市部の緑化

学校施設の耐震化や教室不足などと 的に取り組むとともに、子育て世代 いった早急に解決すべき課題に積極 きであると考えています。 このため、保育所等の待機児童、



地域主権改革をはじめと

宮水学園は高齢者の学び・交流の場。いきいきとセカ ンドライフを送ります





源です。

まっています。 は大きくにぎわい、新たな魅力が高 メント施設の進出などにより、まち 近年の大型商業施設やアミューズ